

ーメッセージー 2016年11月

# 「逆転の人生」



「オール1の落ちこぼれ、教師になる」(宮本延春著)こ

の本を読んで、しばし人生の痛快さを味わうことができました。著者は本当に中学校の成績がオール1だったのです。分数の足し算ができず、九九の2の段までしかできませんでした。英語はBOOKの英単語のみしか知りませんでした。その彼が24歳で定時制高校に入学し、27歳でなんと名古屋大学に入学したのです。大学では大学院まで学び、彼は今、高校の先生をしています。「逆

転の人生」これほど痛快な人生はないでしょう。

**小学校**のときの「いじめ」による学校嫌い、中学校のときの

「落ちこぼれ」、本当にオール1の成績表、中学卒業後は社会に出て働きましたが、なんと10代で両親と死別してしまうのです。しかも両親の実の子ではありませんでした。彼は天涯孤独の身となりながらも、人やものとの出会いを大切にし、自分の人生を切り拓いていったのです。彼の言いたいことは一つです。目標をもつこと、夢をもつこと、決してあきらめないこと、目標に向かって行動していくこと、行動を起した者には結果があり、行動を起こさなかった者には結果がないということです。

**彼の転機**となったのは何でしょうか？彼の転機となったの

はアインシュタインのビデオと後に結婚する彼女との出会いでした。彼はアインシュタインのビデオを通して物理学に目覚め、彼女との出会いによって定時制高校への道が開かれたのです。定時制高校の先生たちも彼を励まし支えました。大学に合格したら当面の学費と生活費として100万円をプレゼントすると言ったのです。



クリスチャンの人生は「逆転の人生」だと言われています。神と出

会って、罪にまみれた死と滅びの人生から感謝と喜びの人生に変えられたからです。私も社会人を経験して、4年遅れで大学に入りました。同級生たちは「あっ」と驚きました。神と出会わなかったらこんなことはなかったでしょう。クリスチャンは夢を失わない。クリスチャンは決してあきらめない。クリスチャンは目標に向かって歩み続けます。何故なら、神がその人生を導いてくださるからです。神がその人生に恵みを備え、時を備えてくださるからです。クリスチャンの人生こそ「逆転の人生」でしょう。そして、最後は、神の御国に凱旋するのです。



「神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということを、わたしたちは知っています。」（ローマ書8章28節）

「この聖霊は、わたしたちが御国を受け継ぐための保証であり、こうして、わたしたちは贖われて神のものとなり、神の栄光をたたえることになるのです。」

（エフェソ1章14節）

（牧師 小林則義）